

URA 室活動報告(2026 年 8 月ハイライト)

1. 学術研究支援: 研究力向上に向けた全学的支援、特に若手や大型へのステップアップにフォーカス

- URA レビュー(担当:全員)随時対応。8/31 時点対応件数延べ 108 件(86 件+複数回 22 件)
 - 早期支援:8/4 締め切り。28 名対応済。
 - ロバスト:15 件希望、15 件利用
 - ジーラント:31 件希望、16 件利用(8/31 時点で情報があるもの)
 - シニアレビュー:応募者は 7 名。5 件対応済
- JSPS2 国間交流(担当:三和):2 件の申請支援
- AI for Science(担当:野原):第 2 回審査結果発表。17 件すべて「無作為抽出により不採択」。
- 研究サロン:各学部で企画(担当:野原)

2. 産学官連携支援: 研究成果の社会実装によるイノベーション創出や地域産業振興などに資する活動

- 提案型共同研究の構築(担当:門):企業 - 4 社、外部機関 - 1 機関
- 共同研究管理・運営(担当:門):2 件
- 共同研究構築(担当:門):4 件
- 新規相談対応(担当:門):3 件
- 展示会等への出展支援:バイオジャパン 1 件(担当:門)、WAKASA インテグメッセ(担当:野原)
- 関連産業界との連携:化学工業協会交流会(担当:野原)、わかやま産業振興財団(担当:野原)、MOBIO(担当:野原)、KSII(担当:門)

3. 拠点構築支援: 研究・教育・社会連携等の拠点形成に資する活動

- 文科省 地域構想推進プラットフォーム構築等推進事業(3.5 千万円/年、3 年間)(担当:三和):採択を受けプロマネとして初動支援。
 - 学内打合せで医療・福祉部会担当(共同研究の構築)

4. 研究環境整備支援: 研究力強化のための環境整備を支援する活動

- 研究環境に関する学内アンケート(担当:似内):週一研究ビキャンペーンを検討中。

5. 研究広報: 学内外に対する研究情報発信、サイエンスコミュニケーションの推進を支援する活動

- 研究紹介リーフレット(担当:服部):1 件配信
- 学内外メルマガ(担当:服部):8 月分発信
- HP 新着情報(担当:服部):1 件配信

6. その他

- 研究倫理審査会管理・運営(担当:野原):8 月分 11 件審議
- 輸出管理(担当:門):0 件対応
- 論文剽窃・盗用チェックソフト(担当:服部):追加 0 名
- オープンアクセス・研究 IR・研究広報勉強会(担当:服部):8/7 に龍大と共催でワークショップを開催。国公立大学 14 機関から 35 名が参加(事務職員 56%、URA44%)